

「子育てアンケート」を実施して

飛田 麻理子

にいがた県民教育研究所から、子育て中のママさんに、子育てに関するパートナーの関与や子育て支援について、お話を聞きたいとの依頼がありました。今回、

時間が取れなかつたので、研究所からの「こんなことを聞きたい！」を、Googleフォームに作って、新婦人新潟支部の若い世代チームのメンバー、全県の若い世代チームのグループ「NINE」にアンケートへの協力をお願いしました。すると、16名の子育て世代が回答してくれました。

結果を見ると、子育てに関しては夫（子どもの父親）の協力はある程度あるようです。特に子どもとの遊びや入浴は、夫の役割になっている家庭もありそうです。しかし、子育て以外の家のこと、料理や掃除などは夫

の協力はあまりなさそうです。共働きの家庭も多く、子育ての分野だけでなく、家事全般を妻と夫が分担してできるといいですね。

子どもが病気の時も休みをとって看護するのはほとんどが妻（母親）のようです。その場合の休みの取りやすさ、取りにくさはあるようなので、社会全体として、休める環境を作っていく必要があります。

看護休暇などはまだまだ、浸透していませんので、うちの娘もそうですが、有給休暇が減らされるのは妻ばかり。それも夫と半々で休みをとって看護できるといいですね。

子育て支援の情報は得ている人が多いですが、ママ友やつながりの人から得る情報のようで、まだ、得ら

れていない情報もあるのでは？と思っている人もいます。

支援を受けるには申請主義が多いので行政には、いろいろな方法でしっかりと周知徹底してもらいたいです。

こんな支援があったらいいなというところには、皆さん、学校給食無償化や、教育費の軽減、無償化を求めています。

新潟市は、この物価高騰の中、小学校の給食費を3回も値上げした学校もあります。中学校のスクールラUNCHも値上がりしました。他の自治体では、材料費の高騰分を自治体が負担して保護者には値上げしないところも多いです。給食費は、1カ月約6000円、年間72000円、子どもが3人いると20万円を超える費用になります。教育費、特に給食費が家計に占める割合が多く負担になっていることがわかります。

また、お金だけではなく、一時保育や、病児保育の充実なども求められています。休まなくてもいい環境は必要ですね。

上越市にいた時に利用した、いいサービスも紹介されていますので、詳しくは設問Q13の回答をご覧ください。

さい。

今回、取り組んでみて、Googleフォームを作ってくれた子育て世代は、作りながらとても勉強になった！と言っていましたし、若い世代チームのメンバーからも質問の文面など、「夫にやってもらってる」という聞き方は導くんじやないか？など意見が出たり、ジェンダー平等や、男女共同参画、夫婦で子育てを協力しあってやっていくことなど、いろいろ考えるきっかけになったと思います。

※アンケートより抜粋

Q13 子育てをされていて、このような支援があったら良かった、これから支援してほしいと思うことがあれば自由に記入してください。

○一時保育の利用がしやすくなる、給食費無償、学用品のレンタル、学用品のお下がりを

○教育費・給食費を無償にして欲しい。柔道着や彫刻刀等、一時的にしか使用しない物は貸出にして欲しい。中学入学時、制服やカバンや体操着は必ず必要

なので、補助があると助かる

○子育てしやすく、(急病等で)休みやすく周りからのアドバイスももらいやすい支援があったらいい。困った時預かってくれる人がいるといい。

○子ども医療費は自治体ではなく、国単位でやってほしい。実家に帰った時に1歳だった子どもが入院したため、子ども医療費助成が使えず、窓口は3割負担だった。後から払い戻しの手続きをすれば戻ってくるが、よく分かっておらずお金が足りるかドキドキした。プラス、地元は1歳児は入院費は無料だったので、新潟に戻って払い戻した時に無料じゃない事に微妙な気持ちになった。

○質問の趣旨とは違うかもしれませんが…。上越市に住んでいたとき、市営のファミリーヘルプ保育園という一時預かり専門施設にとでもお世話になりました。緊急の預かりにも基本断らずに対応してくれ、夜間の預かりもOKでした。新潟市にも預かってくれる保育園はありますが、緊急のときには探すのも大変、リフレッシュは何となく頼みにくい…。結局新潟に来てからは制度はほとんど利用しませんでした。ママの体や気持ちに限界になった時絶対に頼める所

が一つあると、実際に利用しなくても心が楽になると思うので新潟にもあったらいいなと思いました。

○医療費無料、中学校給食、給食費無料

○高校生にも学校給食が欲しい。

○令和5年以降に出産した人への援助金

○給食の無償化、部活動にかかる費用の補助

○病児保育、習い事などの送迎

○まとまった支援金の受け取り

Q 14 30年前から、国や自治体は少子化対策を行っていますますが、成果が得られません。それはなぜだと思いますか？また、どのような対策があれば少子化が好転すると思いますか？

自由に記入してください。

○20代、30代の人々が結婚し子育てをすることが幸せだと思えない。まず低所得なのに、家庭を持つことで金銭的な負担が増え、自由でなくなってしまうから結婚・出産が良いものだと感じない。子育てにお金と手間が掛かりすぎる。その真逆になれば、結婚し子どもを育ててみようと思うのではないか？

○彼らが受けた教育にも問題があったのかも。ゆとりの世代で個々を大切にすることが重要で、集団生活に馴染めない、馴染まなくても良い生活が当たり前になってしまったから？ 女性も賃金を貰い、自分の生活が十分幸せであるから、結婚に魅力を感じない？

○未だに、産休育休に対する理解があまりない職場が多い（制度はあるけど使い難い雰囲気とか）。金銭的にも、支援があるとはいえ、やっぱり負担は大きい。職場の問題は、世代交代したら好転しそう。今の上司が退職し、子育て世代が上司になるころ。金銭的には、子供がいる方が得するって位に支援してみる（子供にかかる費用は全て無料とか）。

○子育てにお金がかかるので、不安があり、子どもを持たないのではないだろうか。生活への不安を少しでも解消すること。

○働きにくい環境、保育、幼稚園、学童保育が悪いからだと思います。

○30年も成果が出ないということは、やっつけることが的外れだということだと思っ。

○私は実家を出て一人暮らしをしてからは、子どもと

出会う機会がほとんどありませんでした。そういう状況にいるとだんだん子どもが未知の生物になって、特に子どもが欲しいとかは思ったことがありませんでした。想像ができないし、お金もないし、でも、結婚して甥っ子や姪っ子と一時期一緒に暮らしたり、生活圏に子どもがいる事が普通になると、あまり収入とか気にせず、自然と産みたいなと思いました。周りに子育てしている事例がある事で、何とかなると思えたり。子どもと大学生や社会人が関わる機会が普通の生活の中にあると結婚や出産が増えるかも？ そのための対策は知りません。

○子育ての経済的な負担が大きすぎる。色々支援制度は打ち出しているがどれも一時的で、対象も限定的で、赤ちゃんの時だけ、幼稚園の時だけ……というものが多く。子育ては独り立ちするまで続けるのに……。賃金が上がらないのに子供が大きくなるほどお金がかかる日本では、ずっと不安を抱えていなければいけなくなる。それが2人、3人となれば躊躇するのは当然。生まれてから大学まで国が通して支援をしてくれたら変わるのではないか。

○非正規雇用を無くすなど、賃金アップ、家賃補助奨

学金を給付型に教育格差是正

○最低賃金が上がっても年収の壁がある為それ以上働けない状況なので、年収の壁も最低賃金に合わせて欲しい。

○政権交代

○教育費は国が負担、給与のアップ

○核家族化が進んでおり、昔のような子育てに人手を割くことができない、またそれを補てんでできるような支援策が少ないため、特に産後ケアを重視したものがあるといいと思う。

○子育てにお金がかかりすぎるから、保育園待機児童問題などがあり、子どもを生みたいと思えない人が増えたのではないか。対策としては、大学まで無償化する。子どもの医療費をただにする。子どもの国保料や給食費をただにする。待機児童の解消、病児保育の拡充。

○各自治体のやる気がないこと？ 安心して子どもを育てることが出来る環境づくり、会社のトップの力量。

(とびた まりこ・新日本婦人の会新潟支部)

生成AIに判定してもらいたいこと

私は、地元の退職教職員の会にも関わっています。会員の皆さんに、近況をお知らせくださいとのハガキを出したところ、ある方から下記のような返信が届きました。

近頃、ポーツと思うこと。

AIに判定してもらいたいこと。

・車内置き忘れ防止機器と人間の注意力のどちらが大切か。

・核抑止力依存と核廃棄とどちらが賢明か。

・機器より人間自身が判断しなければならない例

・現金払い可のレジを探し続ける消費者に未来はあるか。

・死刑制度はなくした方が人間にとって有益か。

・人間の手になる情報、データから人間を超える判断は可能か。またその信頼度は。

生成AIに質問したら、どんな答えが返ってくるか、興味あるところですよ。

ちなみに、Microsoft Bingに2番目の質問を入力したら、人が考えたような滑らかな約500字の文が返ってきて、びっくりです。

(和澄)